



2010～2011 年度 RI 会長
Ray Klingensmith



東京赤坂ロータリークラブ

NO. 1136 / 2011. 5. 20

例 会/ANA インターコンチネンタルホテル東京

Tel 03-3505-1111

事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂 2-19-8

赤坂 2 丁目 アネックス 3F

Tel 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

http://www.akasakarotary.com/

Weekly Report 東京赤坂ロータリークラブ週報

「原点に帰ろう 友情と絆 行動する赤坂ロータリークラブ」
2010～2011年度 東京赤坂ロータリークラブテーマ/吉岡琢磨会長

●本日の例会/ 2011 年 5 月 20 日 第 1162 回

卓話：「香と香道について」

香道 直心流 師範 松崎 香蓮 氏

●前回報告/2011 年 5 月 13 日 第 1161 回例会

卓話：「相撲道に学ぶ覚悟 根性 志し」

株式会社 玉海力 代表取締役
元幕内玉海力 河邊 幸夫 氏



卓話紹介者：石井会員

幹事報告：(橋本年男)：

1. 麻布との合同例会は次回麻布がホストで6月1日(水)です、エントリーは5月20日までをお願いいたします。
2. 5月24日19時からサントリーホールで「がんばろう日本」チャリティーコンサートが開催されます、費用は3,000円ですご希望の方は四分一会員まで申込みを願います。
3. 本日の理事会は「1階かすみ」です、理事役員の皆様の参加を願います。
4. 2010～2011年度の各委員会の活動実績を5月30日までに事務局に提出願います。

ロータリー情報委員会：(渡部副委員長)

ロータリーミニ情報
「騎士道とロータリー」



出席報告：会員 49 名 / 出席 28 名・欠席 21 名

ゲスト：渡邊 幸夫 (卓話) 計 1 名 (敬称略)

ビジター：

小林啓文 (東京 RC)、勝島敏明 (東京南 RC)、
小谷達雄 (京都 RC)、妹尾八郎 (福岡平成 RC)

5 月 定 例 理 事 会 議 事 録

日時 2011 年 5 月 6 日(金)例会後 13:40～15:00
場所 ANA インターコンチネンタルホテル東京 B1F 「かすみ」
出席者 吉岡、橋本、尾関、清水、吉田、尾上、庄司、
石井、飯島、岩上、西澤、四分一
計 12 名(順不同・敬称略)

〔討議事項〕

1. 2011～2012 年度委員会構成については、現在調整中。6 月定例理事会にて報告できる予定。
2. 2011～2012 年度年間予定表については、添付資料の通り承認。
3. 2011～2012 年度のクラブテーマは
「未来に向かって掲げよう心の絆、
東京赤坂ロータリークラブ」
とすることを承認。
4. 休会制度の見直しについて添付資料の通り承認。
6 月に入ったら全会員へ周知することとする。
5. 馬場会員の名誉会員については、ご本人辞退。
馬場会員は、6 月末をもって退会とすることを承認。
6. 6 月 1 日(水)は 東京麻布 RC ホストの合同例会とする。
7. 5 月 22 日(日)風の子会「障害者は外に出よう」
へ参加者は、メイクアップ扱いとすることを承認。
8. 親睦活動委員会より、新会員歓迎会の日程を 6 月 7 日(火)とする提案について承認。
9. 社会奉仕委員会より、6 月 18 日(土)バスにて東日本大震災の視察予定についての提案を承認。



5 月 13 日(金) / 7 件 14,000 円

累計 1,104,600 円

多額の寄付を有難うございました。

四分一勝/NPOになって初めての第23回チャリティーコンサートを6月11日紀尾井町で開催いたします。よろしく小原健/ジョンさん、ご苦勞様です。土屋東一/ジョンさん、ニコニコご苦勞様です。石井謙次/玉海力さん、本日の卓話よろしく願います。佐藤雅彦/玉海力さんの卓話楽しみにしています。ジョンさんニコニコご苦勞様です。西澤民夫/ジョンさん、ご苦勞様です。ジョン・チャヌ/玉海力さん、スピーチ楽しみにしています。

5月10日、ANA インターコンチネンタルホテル 36 階 ミックスバーアンドラウンジにて吉岡年度最後の火曜会が「皆で語ろう復興への道」と言うテーマで開催されました。

吉岡会長: 3月11日の東日本大震災で東北地方 83 のクラブが被災しました。

被災したクラブのメンバーはロータリー活動どころではないと言っています。又、ロータリーの義援金が 10 億円集まりました。

高須副会長: 今回の震災の影響で次年度の準備が遅れて大変申し訳ありません。今月の 12 日に次年度理事、役員、委員長会議を行います。

橋本幹事: 2009年10月に吉岡年度の幹事を仰せ使いましたから本日までの1年8ヶ月の間皆様には大変お世話になりました、皆様のロータリーライフが意義ある年度に成る事と 我がクラブの発展に少しでも寄与出来ればとの思いで完全裏方に徹しまして努力してきました。皆様のご協力に感謝申し上げます。東日本大震災の我々の活動につきまして特筆すべき行動が2点感じられました。まず公山城RCが義援金として100万ウオン・支援物資としてマスクを送ってくれた 迅速な行動です。それと麻布RCが被災地に赴いて行動された事にも拍手を送りたいと思います。

尾関会員: 次年度は社会奉仕委員長です。今回の震災は、ロータリーの存在感を示す絶好のチャンスではないか。先日仙台、岩手の取引会社 77 社を見て回りました。被災者はお金(義援金)だけではなく、就職先長い期間の支援、商売を又やりたいので、その為の支援をして欲しいと言われました。

西澤会員: 今回の震災で金融機関の貸付金 7,000 億円位が返済不能になる。私も現地を見に行きましたが悲惨な状態でした。又、アメリカのファンド財団が現地の被災された若い人を受け入れたいと言ってきました。

小林会員: 私は4月10日に現地に行きました。仙台の先の大崎市です。東北道より周りを見回すと田畑の多くにブルーシートが掛かっていました。市内はビルの倒壊、道路の陥没等で酷い有様でした。でも津波の被害が大きいのでニュースになっていません。

西澤会員: 私が持ち歩いているガイガーカウンターの数値が仙台に入ると東京は変わらないが福島に入った途端数値が上がりました。

尾関会員: 白河の友人を訪ねた時にその友人は、起こってしまった事は仕方がない。これからが大事です。又、アイデアも有ります。陸にはソーラーパネル、海には風力発電の施設を作り自然エネルギーを供給したい。

大日方会員: 旅行会を是非東北地方でやりたい。又、2750 地区は被災地の地区ロータリーの情報を各クラブに提供して欲しい。

尾関会員: 被災地では自転車が無い。

村山会員: 今の状況は関東大震災より終戦の時に近い。これからは原子力は無理なので現況のエネルギーの考え方

を変える事が必要です。今回の原発事故は人災であり技術力は経済的論理に支配されているのである所までしかお金を掛けない。

庄司会員: 原発に地方都市は雇用、税収面で依存している。

入沢会員: ロータリーの義援金は、地区→ガバナー会→被災地区のガバナー送られる。東京で大震災が又来た時に行政はどう対応してくれるのか知りたい。防災マップだけでは不十分。

吉岡会長: 次年度は社会奉仕は活動を考え直すいい機会ではないか。

大日方会員: 被災地の復興の為には、どこに重点をあてるのが大切です。交換留学生を預かる様に被災地の子供達を1年間位、クラブの家庭で預りたい。

竹本会員: 社員の友人の陸前高田の女性教師より救援物資で生活用品は有るが子供達の学用品が不足しているとの話を聞き、急遽鉛筆、ノートを段ボール1箱を現地に送りました。でもまだ十分ではないと思い、当クラブの吉田会員にお願いして、吉田会員の所属団体から陸前高田へ改めて 48 箱のクレヨン、書道用具を送らせてもらいました。

岡澤会員: 3月11日は会議で福岡にいました。夕方羽田について初めて事の重大さに気付きました。

小原会員: 95年の神戸淡路大震災の時には弁護士会で募金を行った。その内 1/3 を弁護士費用に、1/3 を被災地に、1/3 をその他へ振り分けた。又、韓国ソウル弁護士会よりも 1,500 万円の義援金を出してもらった。やり方は色々あるが鋭敏でなくてはならない。

尾上会員: 今自分自身で出来る事はあり来たりだが、募金と職業奉仕の理念に基づき自社の空いている住宅を一定期間無料提供なら十分可能です。(尾上記)

参加者:

飯島、橋本、庄司、吉岡、岩上、尾上、小林、尾関、村山、高須、竹本、大日方、入澤、岡澤、西澤、小原



●次回予告/2011年5月27日(金)第1163例会
卓話予定: 「人生を左右する大切なもの」
開運コンサルタント 内川 あや氏